

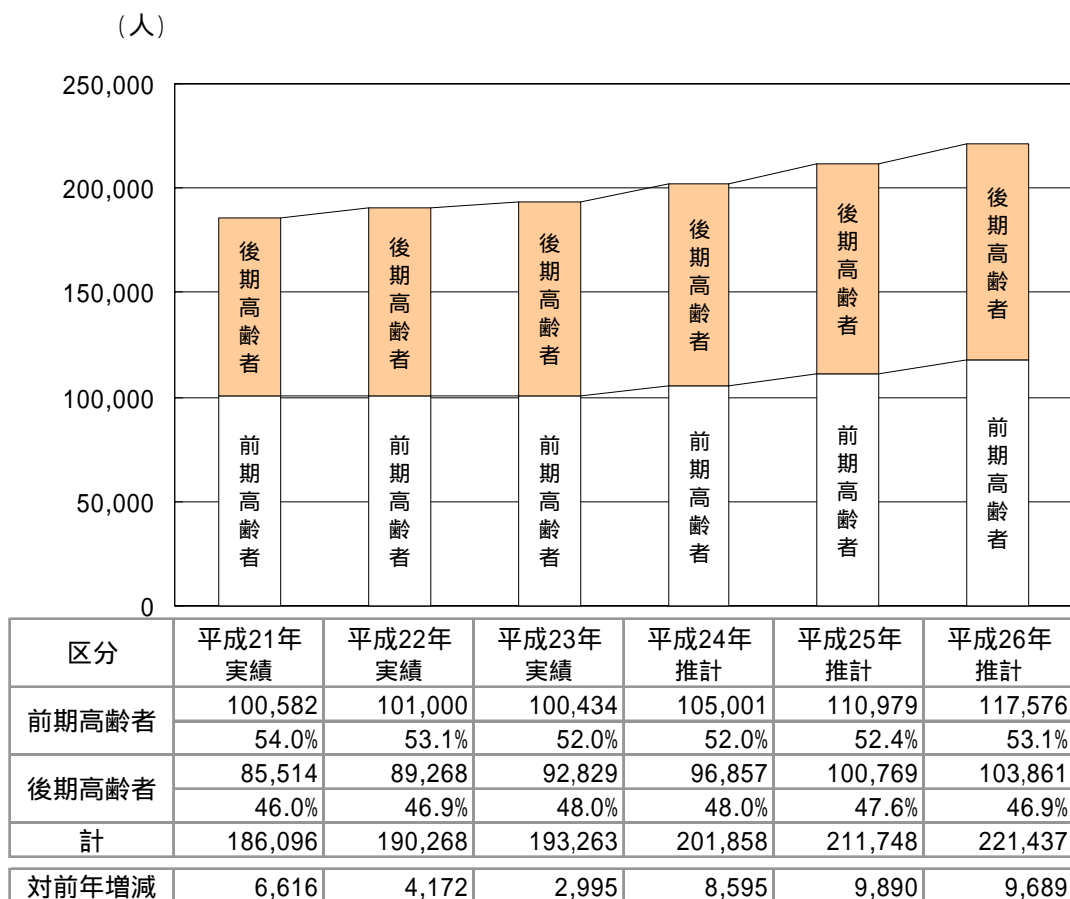
## 介護給付対象サービス及び地域支援事業の量の見込み等について

各推計値，見込量等の数値については，現時点におけるもので，今後変更があり得ます。

### 1 第一号被保険者数の推計

本市の第一号被保険者数は，本年 10 月 1 日現在で 193,263 人，このうち前期高齢者が 100,434 人（52.0%），後期高齢者が 92,829 人（48.0%）となっています。

第 5 期事業計画期間においては，団塊の世代（昭和 22 年～昭和 24 年生）の方々が 65 歳に達し始め，著しく増加することから，平成 26 年度には 221,437 人（うち前期高齢者 117,576 人 53.1%，後期高齢者 103,861 人 46.9%）に達するものと見込んでいます。



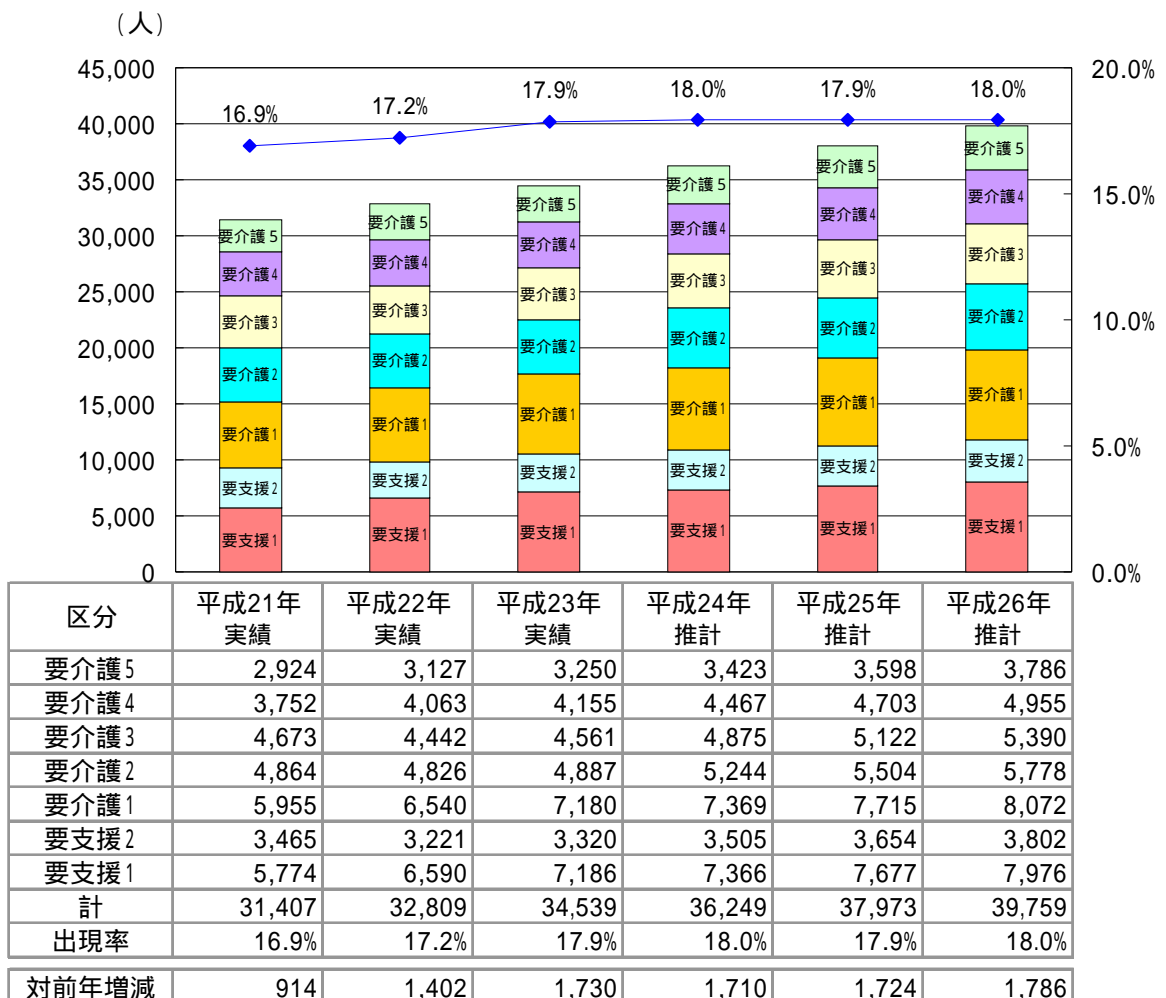
直近の第 1 号被保険者数に，本市の基本構想・基本計画における将来推計人口の伸び率を乗じて算出しています。

## 2 要介護等認定者数の推計

本市の要介護等認定者数は、本年10月1日現在で、34,539人、出現率（第1号被保険者数に対する要介護等認定者数の割合）は17.9%となっています。

出現率は、制度開始以降上昇を続け、平成18年度に17.6%と一旦ピークを迎えた後、微減または横ばいとなり、平成22年度からは微増傾向にあります。

第5期事業計画期間においても、高齢者の単身世帯や夫婦のみ世帯の増加、要介護等認定者の8割以上を占める後期高齢者の増加、認知症高齢者の増加が考えられ、平成26年度における要介護等認定者数は、39,759人、出現率18.0%と見込んでいます。



被保険者数の推計値に、直近1年間における年齢別（5歳階級別）、性別ごとの各要介護度の出現率の平均値を乗じて算出しています。

### 3 介護（予防）サービス量の見込み

当面、人口は微増しますが、次期計画期間中には、高齢者人口は団塊の世代の方々が 65 歳に達し急激に増加します。

第 5 期事業計画期間においても、後期高齢者や認知症高齢者の増加に伴って要介護等認定者数が増加し、さらには中重度者の増加が予想されることから、介護サービスへのニーズは一層高まるものと考えられます。

第 5 期事業計画期間において必要な介護（予防）サービス量を推計するにあたって考慮した点は以下のとおりです。

#### (1) 居宅サービス

訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護（デイサービス）、短期入所生活介護（ショートステイ）、福祉用具貸与・購入など  
特定施設入居者生活介護を除く

要介護等認定者数の増加に伴い軽度者の増加も予想されることから、軽度者の利用が多い訪問介護や通所介護をはじめとしたサービスの利用は伸びるものと考えられます。

#### (2) 地域密着型サービス

夜間対応型訪問介護、小規模多機能型生活介護、認知症対応型通所介護  
【平成 24 年度から創設】定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24 時間対応）、複合型サービス（小規模多機能型居宅介護と訪問看護の組合せ）

認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護を除く

平成 24 年度から新たなサービスとして、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び複合型サービスが創設されます。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、サービス付き高齢者向け住宅においてサービス提供されることが多くなると予想され、同住宅の整備に伴い利用が進むと考えられます。

複合型サービスについては、小規模多機能型居宅介護事業所において、新たに訪問看護のサービスが可能となるもので、医療ニーズのある要介護等認定者に利用されると考えられます。

#### (3) 施設・居住系サービス

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）、特定施設入居者生活介護など

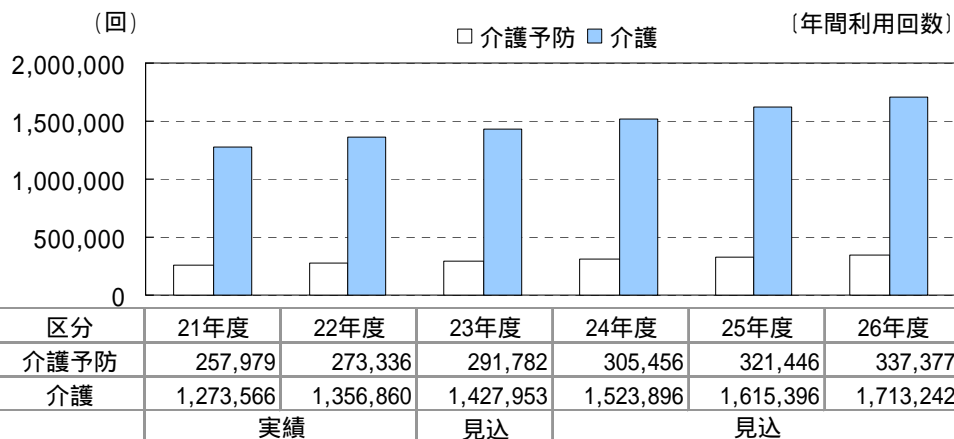
高齢者の単身世帯や夫婦のみ世帯の増加、認知症高齢者の増加、中重度者の増加などにより、施設・居住系サービスのニーズは一層高まり、待機者解消等に向けた特別養護老人ホームをはじめとした施設整備の目標を踏まえ、利用者の増加を見込んでいます。

また、介護療養型医療施設（介護療養病床：4 施設）は、第 5 期事業計画期間において医療療養病床への転換等はないものと見込んでいます。

## 各年度の介護（予防）サービスの種類ごとの量の見込み

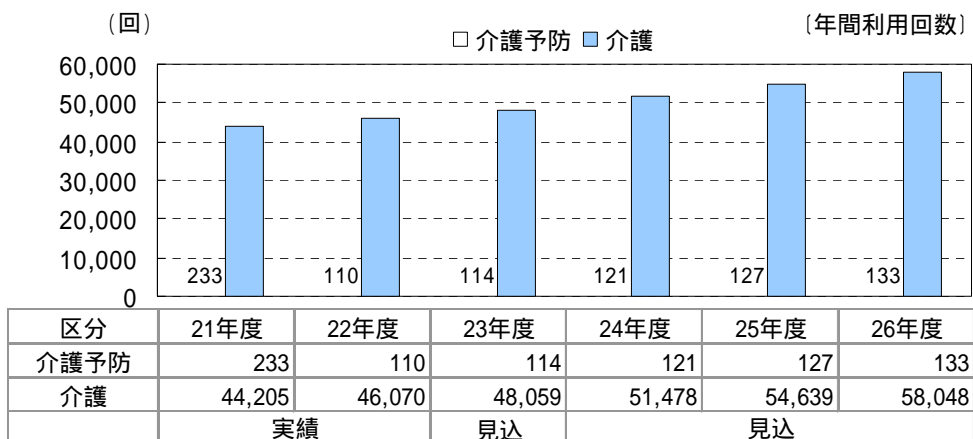
### (1) 居宅サービス

#### 訪問介護



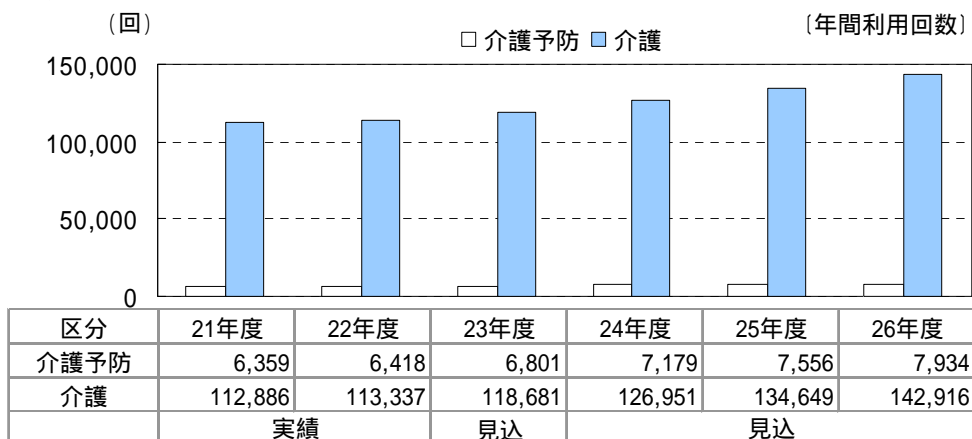
主要サービスであり、事業所数も多く、軽度者の利用の増加が見込まれます。

#### 訪問入浴介護



要介護4、5の方の利用が多く、中重度者の増加に伴い利用の増加が見込まれます。

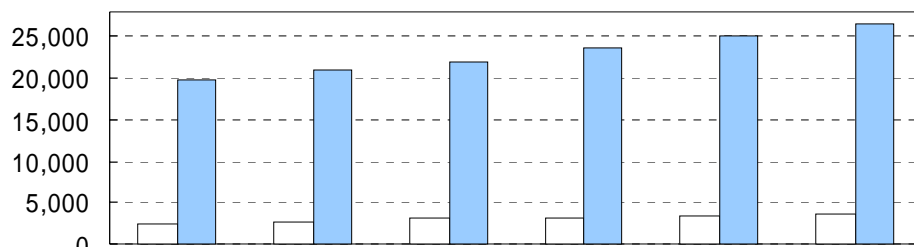
#### 訪問看護



要介護3～5の方の利用が多く、中重度者の増加に伴い利用の増加が見込まれます。

### 訪問リハビリテーション

(回) □ 介護予防 ■ 介護 (年間利用回数)

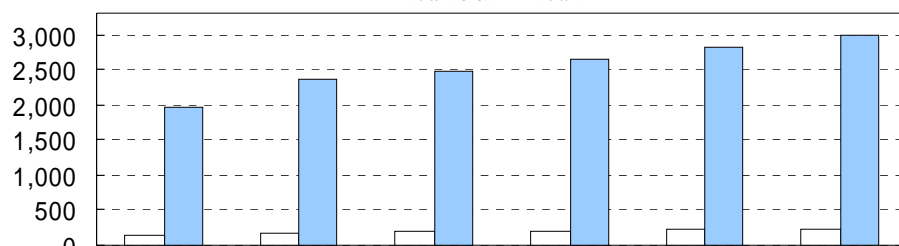


区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	2,405	2,603	3,053	3,208	3,378	3,548
介護	19,712	21,025	22,034	23,572	24,991	26,512
	実績		見込	見込		

中度者の利用が多く、老人保健施設の整備に伴い利用の増加が見込まれます。

### 居宅療養管理指導

(人) □ 介護予防 ■ 介護 (月平均利用者数)

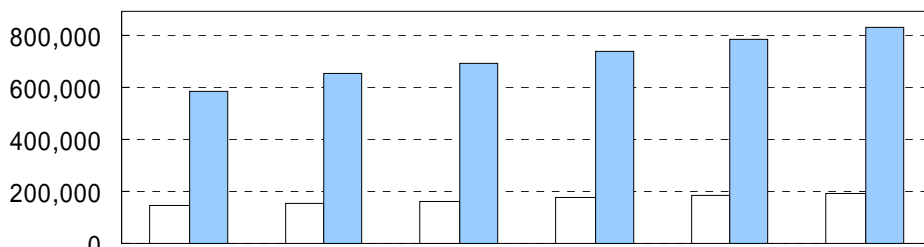


区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	150	184	197	207	218	229
介護	1,959	2,360	2,477	2,647	2,807	2,978
	実績		見込	見込		

要介護3～5の方の利用が多く、中重度者の増加に伴い利用の増加が見込まれます。

### 通所介護

(回) □ 介護予防 ■ 介護 (年間利用回数)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	144,002	156,745	164,877	172,991	182,052	191,097
介護	584,625	653,290	691,275	735,654	779,301	825,766
	実績		見込	見込		

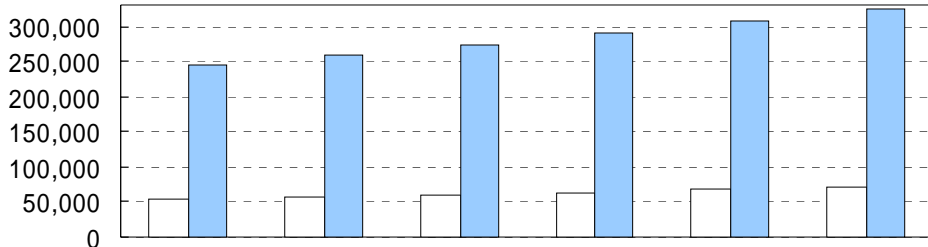
主要サービスであり、事業所数も多く、軽度者の利用の増加が見込まれます。

### 通所リハビリテーション

(回)

□ 介護予防 ■ 介護

(年間利用回数)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	54,866	57,318	60,696	63,884	67,233	70,582
介護	245,268	257,864	272,204	290,094	307,323	325,680
	実績		見込	見込		

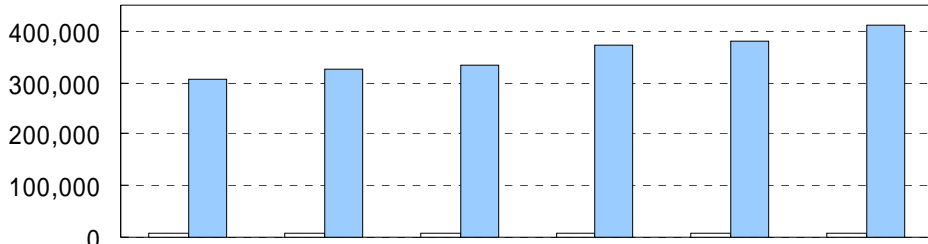
軽度者の利用が多く、老人保健施設の整備に伴い利用の増加が見込まれます。

### 短期入所生活介護(特別養護老人ホーム)

(日)

□ 介護予防 ■ 介護

(年間利用日数)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	6,877	7,332	7,520	8,340	8,563	9,234
介護	307,916	326,662	334,981	371,517	381,468	411,348
	実績		見込	見込		

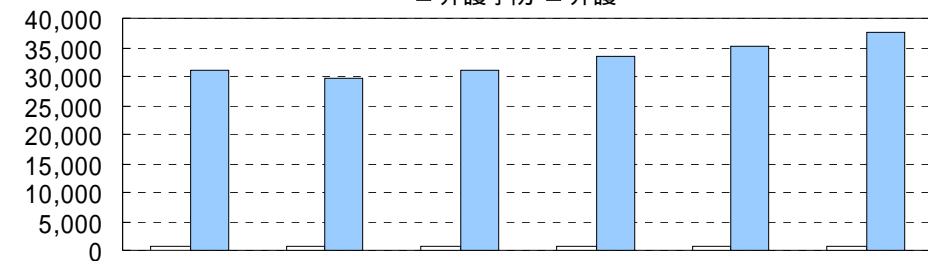
要介護2～4の方の利用が多く、施設の整備に伴い利用の増加が見込まれます。

### 短期入所療養介護(老人保健施設,療養病床)

(日)

□ 介護予防 ■ 介護

(年間利用日数)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	665	595	625	663	697	731
介護	31,032	29,741	31,024	33,307	35,331	37,506
	実績		見込	見込		

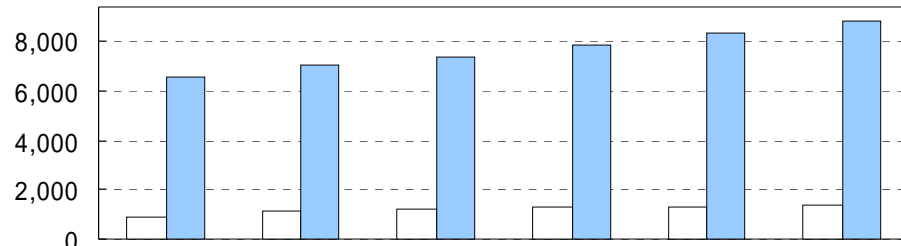
要介護2～4の方の利用が多く、施設の整備に伴い利用の増加が見込まれます。

### 福祉用具貸与

(人)

□ 介護予防 ■ 介護

(月平均利用者数)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	885	1,130	1,206	1,268	1,334	1,401
介護	6,551	7,020	7,347	7,869	8,343	8,851
	実績		見込	見込		

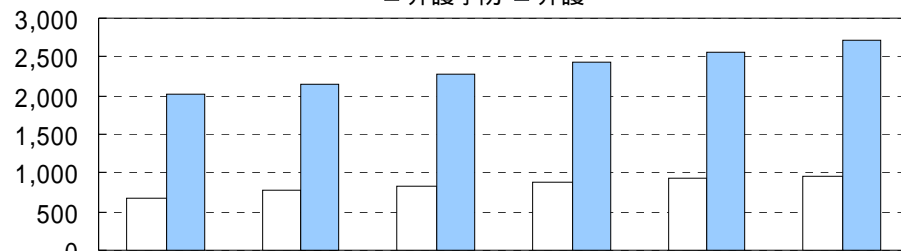
要介護2～4の方の利用が多く、日常生活を支えるサービスとして利用の増加が見込まれます。なお、福祉用具の保険給付のあり方の見直しによっては、利用への影響が考えられます。

### 特定福祉用具販売

(件)

□ 介護予防 ■ 介護

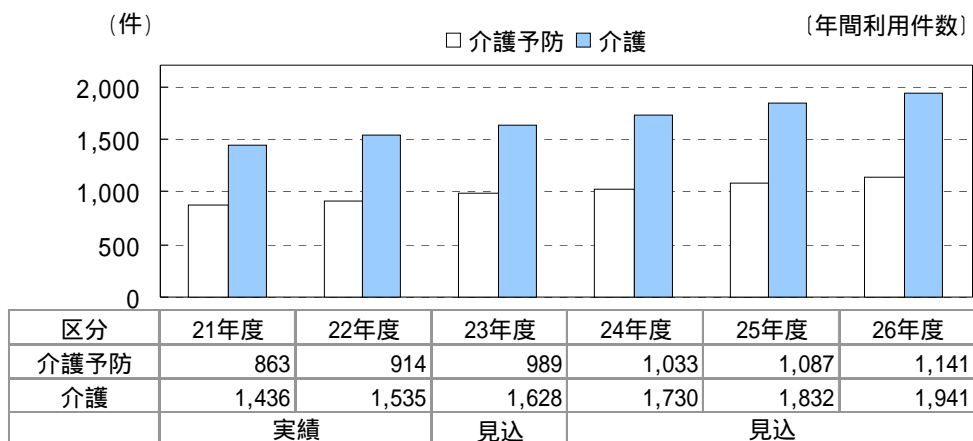
(年間利用件数)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	673	775	835	874	920	965
介護	2,022	2,150	2,272	2,420	2,565	2,719
	実績		見込	見込		

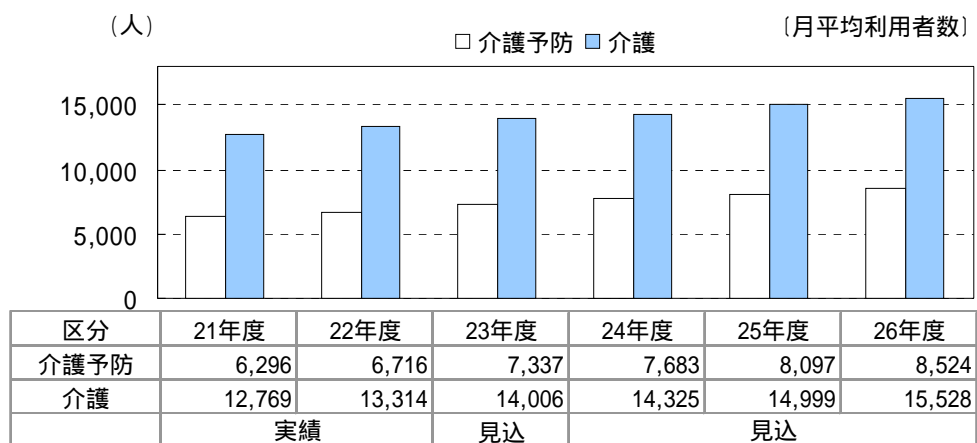
要介護1～3の方の利用が多く、日常生活を支えるサービスとして利用の増加が見込まれます。なお、福祉用具の保険給付のあり方の見直しによっては、利用への影響が考えられます。

## (2) 住宅改修



要支援1，要介護1の方の利用が多く，日常生活を支えるサービスとして利用の増加が見込まれます。

## (3) 居宅介護支援



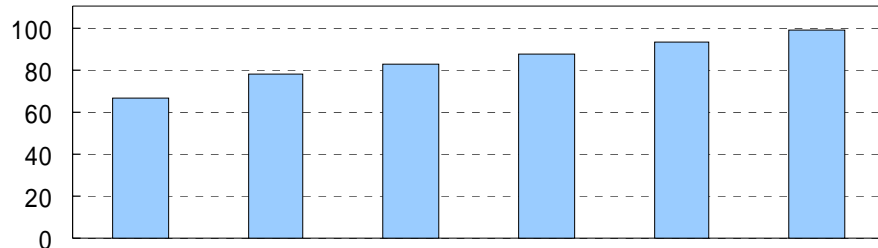
要介護等認定者の増加，居宅サービス利用者の増加に伴い増加が見込まれます。



(4) 地域密着型サービス

夜間対応型訪問介護

(人) (月平均利用者数)

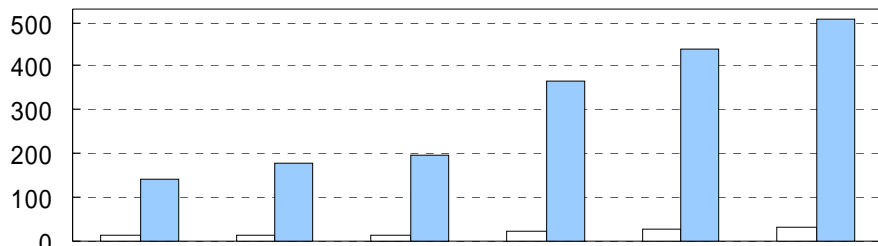


区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護	67	78	82	88	93	99
	実績		見込	見込		

軽度者，中重度者ともに利用があり，利用は横ばいで推移すると見込んでいます。

小規模多機能型居宅介護

(人) (月平均利用者数)

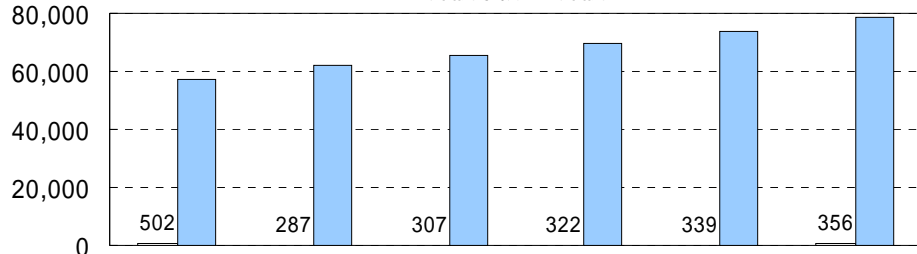


区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	12	12	13	24	28	33
介護	142	178	198	367	438	508
	実績		見込	見込		

要介護1～3の方の利用が多く，指定事業所の増加に伴い利用の増加が見込まれます。

認知症対応型通所介護

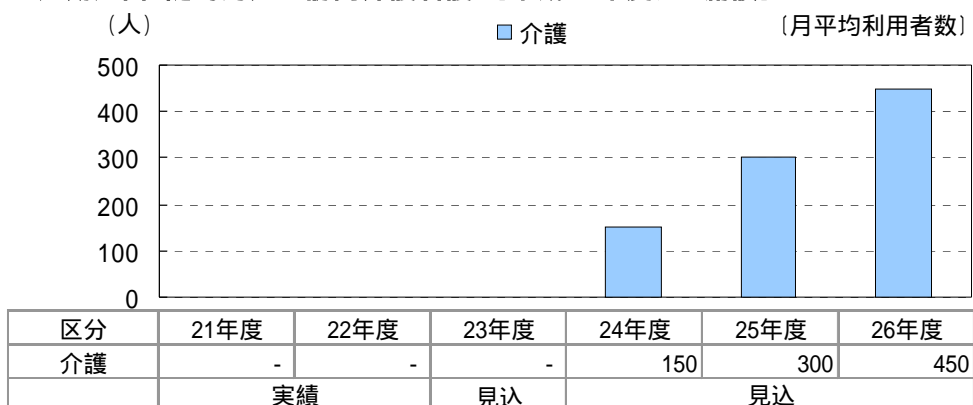
(回) (年間利用回数)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	502	287	307	322	339	356
介護	57,193	62,263	65,193	69,836	74,048	78,565
	実績		見込	見込		

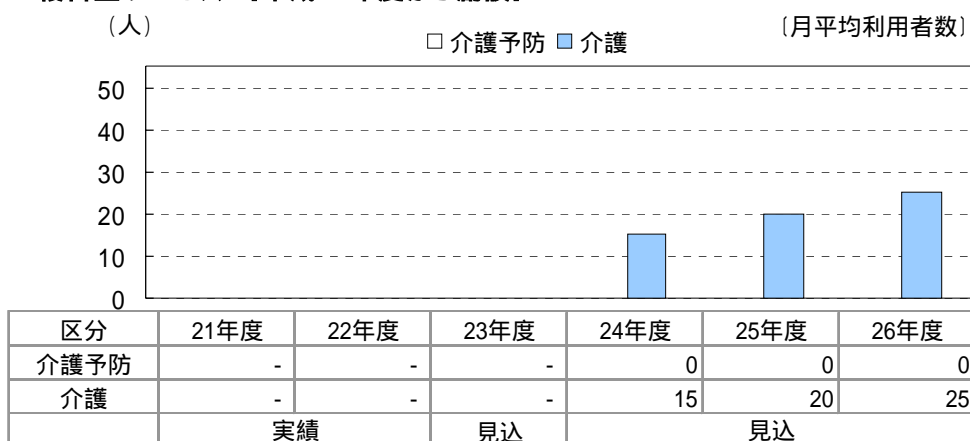
要介護2～4の方の利用が多く，認知症高齢者の増加に伴い利用の増加が見込まれます。

### 定期巡回・随時対応型訪問介護看護【平成24年度から創設】



サービス付き高齢者向け住宅との組み合わせにより、利用が進むと考えられます。

### 複合型サービス【平成24年度から創設】

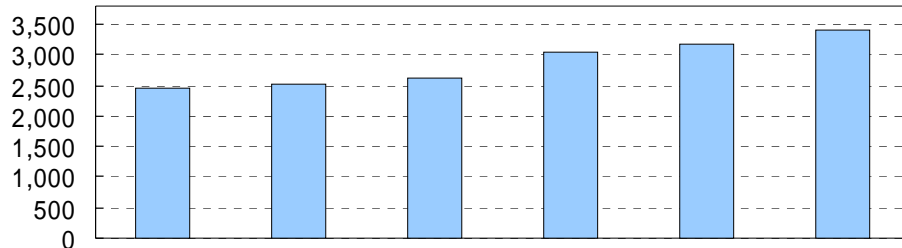


小規模多機能型居宅介護の利用者のうち、医療ニーズのある方の利用を見込んでいます。

(5) 施設・居住系サービス

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

(人) (月平均利用者数)

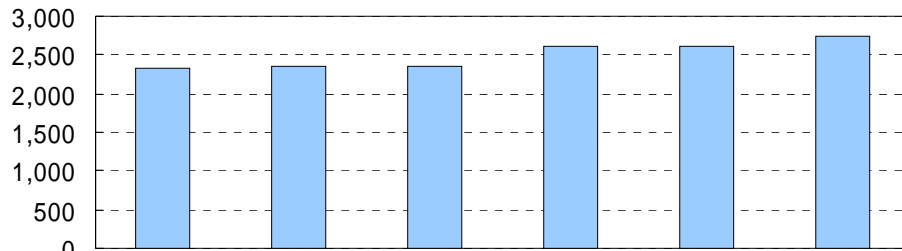


区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護	2,468	2,512	2,606	3,052	3,191	3,391
	実績		見込	見込		

要介護3～5の方の利用が多く、施設の整備に伴い利用の増加が見込まれます。

介護老人保健施設

(人) (月平均利用者数)

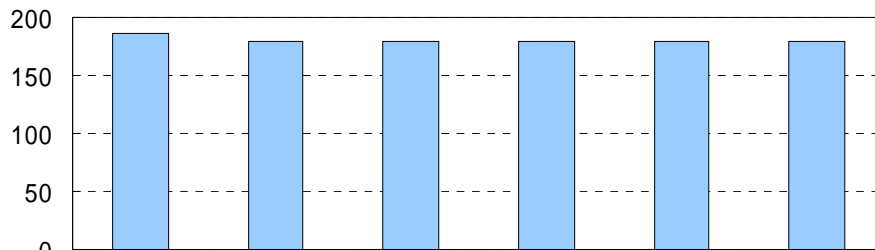


区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護	2,331	2,343	2,343	2,615	2,623	2,743
	実績		見込	見込		

要介護3～5の方の利用が多く、施設の整備に伴い利用の増加が見込まれます。

介護療養型医療施設

(人) (月平均利用者数)

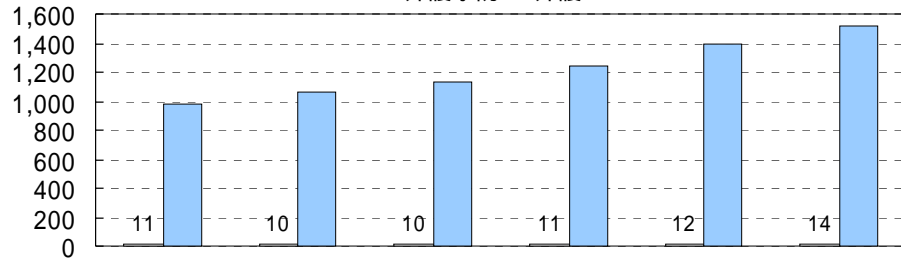


区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護	187	179	179	179	179	179
	実績		見込	見込		

医療療養病床への転換等はないものと見込んでいます。

**認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)**

(人) □ 介護予防 ■ 介護 (月平均利用者数)

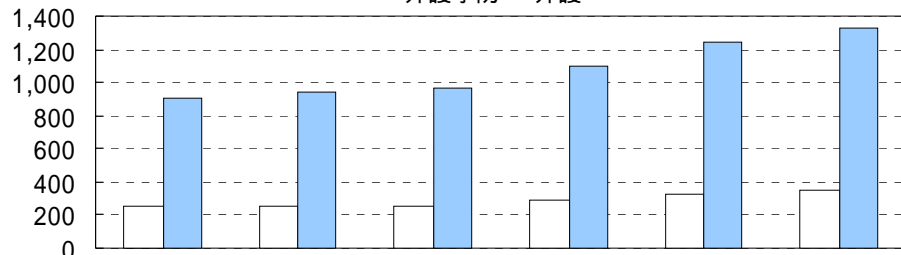


区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	11	10	10	11	12	14
介護	974	1,067	1,129	1,244	1,396	1,520
	実績		見込	見込		

要介護1～4の方の利用が多く、施設の整備に伴い利用の増加が見込まれます。

**特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)**

(人) □ 介護予防 ■ 介護 (月平均利用者数)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護予防	259	249	253	291	328	349
介護	901	944	960	1,103	1,245	1,324
	実績		見込	見込		

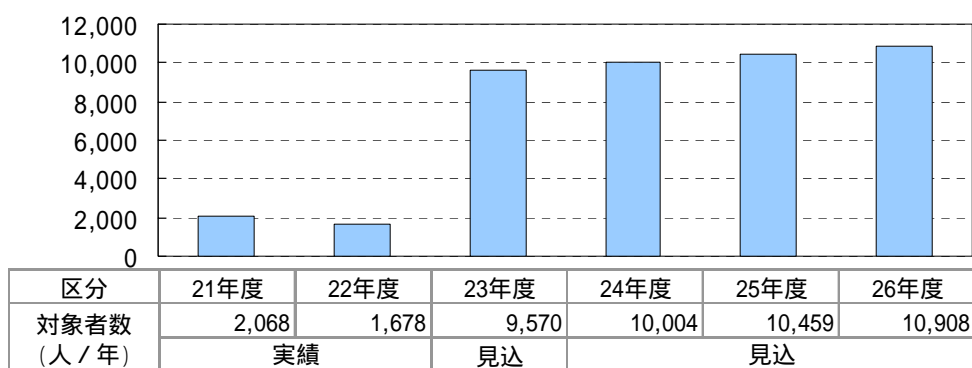
要支援者、要介護者ともに利用が多く、施設の整備に伴い利用の増加が見込まれます。

## 4 地域支援事業の種類ごとの量の見込み等

### (1) 二次予防事業対象者

要介護・要支援状態となる可能性が高いと認められる高齢者のこと。25項目からなる基本チェックリスト（本市では「豊齢力チェックリスト」と呼ぶ。）を実施し、生活機能の低下の有無の確認を行って対象者を決定します。

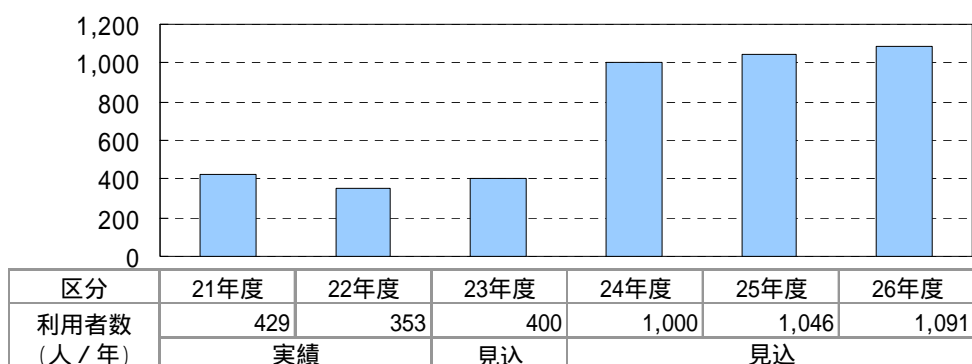
高齢者数及び豊齢力チェックリスト実施者数の増加等を踏まえ、増加を見込みました。



### (2) 元気応援教室（通所型介護予防事業）

二次予防事業対象者に対して状態像の維持・改善を図るため、運動器の機能向上及び口腔機能向上の介護予防プログラムを提供する通所サービス事業です。

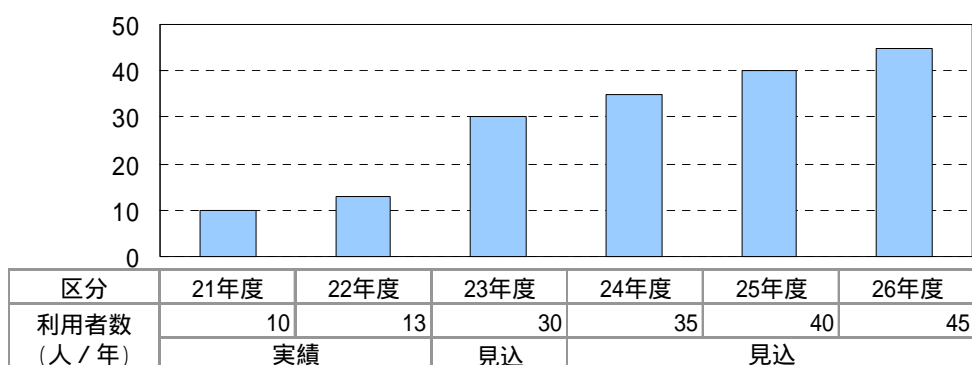
二次予防事業対象者数の増加にあわせて利用者数の増加を見込んでいます。



### (3) 介護予防訪問指導（訪問型介護予防事業）

通所が困難な二次予防事業対象者に、看護師等の訪問指導員が対象者の自宅を訪問し、生活状況を踏まえながら、うつ予防・支援や閉じこもり予防・支援等の各介護予防サービスを提供する訪問サービス事業です。

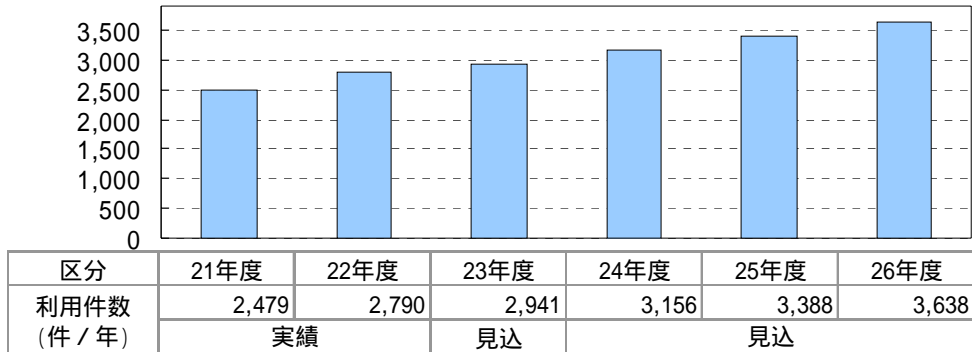
二次予防事業対象者数の増加にあわせて利用者数の増加を見込んでいます。



**(4) 介護用品支給事業**

介護保険の要介護4または5に相当し、市民税非課税世帯に属する高齢者等に対して、介護に必要な紙おむつ等の介護用品を支給します。

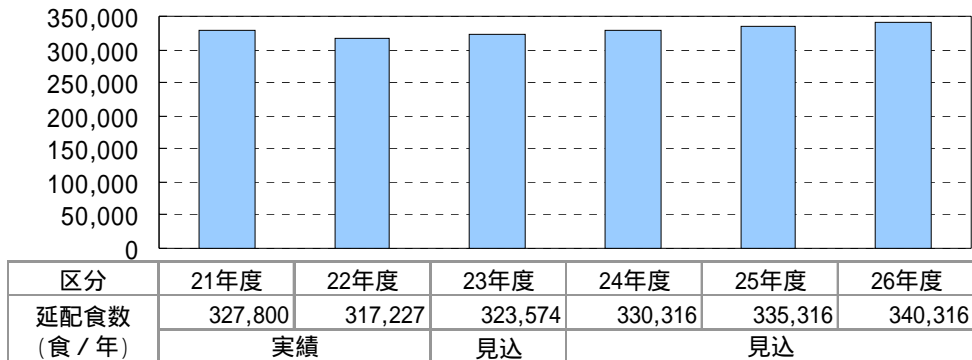
要介護等認定者数の増加にあわせて利用件数の増加を見込んでいます。



**(5) 食の自立支援サービス事業**

要支援、要介護者や要介護状態となる可能性の高い方を対象に、栄養バランスのとれた食事を自宅に届けるとともに、安否確認を行います。

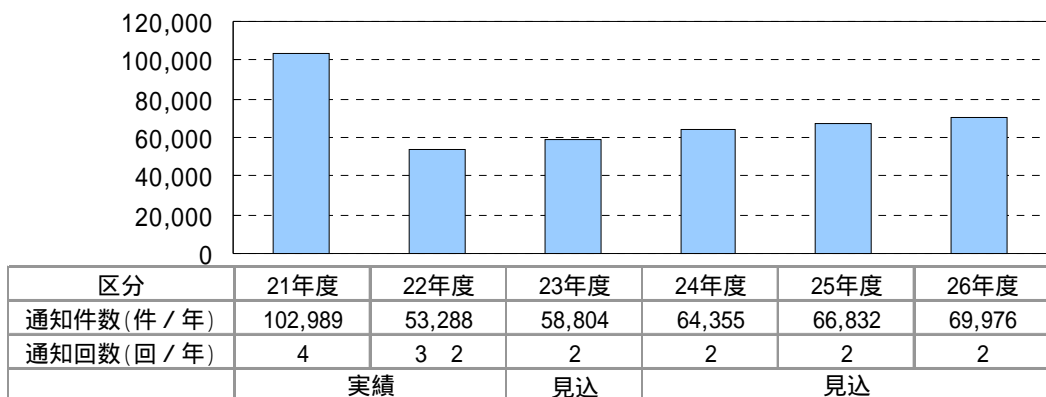
要介護等認定者数や二次予防事業対象者数の増加にあわせて配食数の増加を見込んでいます。



**(6) 介護給付費等費用適正化**

介護保険サービス利用者に対して事業者からの請求内容を通知し、実際に利用したサービス内容と合致しているか等を確認いただくことで、不正請求を防止し、介護給付費の適正化を図るもの。

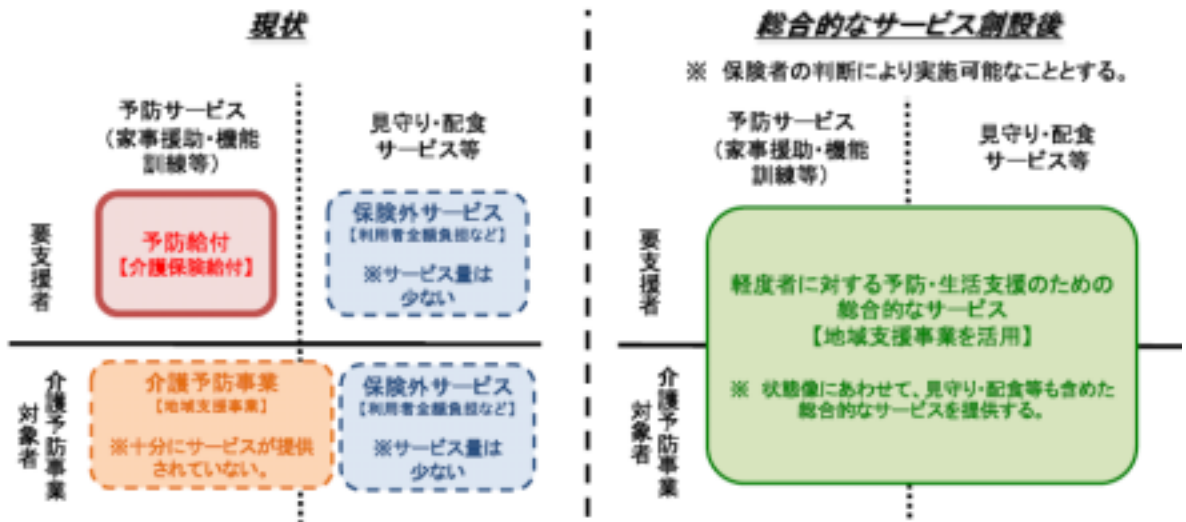
サービス利用者の増加にあわせて通知件数の増加を見込んでいます。



## (7) 介護予防・日常生活支援総合事業

### 概要

介護予防・日常生活支援総合事業は、平成 24 年度から創設される新しいサービスで、市町村の判断により、地域の実情に応じて、多様なマンパワーや社会資源の活用等を図りながら、要支援者・二次予防事業対象者に対して、介護予防や配食・見守り等の生活支援サービス等を総合的に提供することができる事業です。



### 本市の状況

昨年 11 月に実施した実態調査の結果は次のとおりです。

高齢者福祉サービス・・・利用状況：特にない 49.7%，今後の利用意向：特にない 28.0%  
 インフォーマルサービス・・・利用状況：特にない 56.1%，今後の利用意向：特にない 35.3%

### 第 5 期事業計画策定に向けての検討

軽度者については、NPO やボランティアなどによるインフォーマルサービスでもよい場合があると考えられますが、地域支援事業として実施するうえでは、サービス基盤が整っている必要があります。第 5 期事業計画期間においては、その整備等に向けた取り組みを進めていく。